

メイから

ミルクは、何かにつかまっていると飲みやすいの。タオルをおしぼりのように丸めたものなどに乗せるとしがみつから、頭のほうを高くして斜めになるように支えてからミルクをあげてみて。

徐々に皿からなめられるように教えていき、生後3～4週間のころ、いろいろなものを噛んで遊ぶようになったら、ミルクから離乳食に移り、年齢や状態に応じて普通食にしていきます。子猫用の離乳食は市販されています。離乳食をあまり食べなくてもあせらないでください。離乳食を食べず、すぐ普通食に移る子猫もいます。

サッピーから

お願い、人間の食事を与えないで。人間の食事は猫にとっては有害だったり消化に悪い塩分や糖分、脂肪過多のものが多くある。おいしそうだからねだっちゃうし、もらえれば食べちゃうけど、体を壊して苦しむのは食べてしまった猫なの。猫の健康と幸せを守ってあげてください。

トイレ……専用のトイレを用意します。トイレのしつけは、生後2ヶ月ぐらいまでに覚えさせましょう。最初は、子猫がまたげる高さの箱に猫のトイレ用の砂を入れ、猫の排泄物のおいがついているものを加えておきます。それをいくつか用意し、猫の寝床の近く、遊んだり頻繁に通りにかかる場所などに置きます。猫は、目覚めたとき、食後、遊びの後などに排便・排尿したくなることが多いので、このときにトイレに連れて行き、中に入れます。最初はトイレの中で排泄を促すように、軽く局所を刺激してみるとよいでしょう。何回か繰り返しているうちにトイレであることを覚えます。

トイレの中は清潔に保つ必要がありますが、においも残らないほどに掃除してしまうと猫はトイレの場所を理解できません。トイレを認識するまではにおいを残しましょう。

トイレ以外で失敗してもらったら、すぐふき取って消臭します。においが残っていると同一場所で繰り返すので、しっかり消臭してください。失敗してもしからないでください。

赤ちゃん猫は自力でおしっこやうんちができません。こまめに排泄させてあげないと、腹部がぱんぱんに張り、危険です。母猫になめられるとその刺激で排泄するので、ぬるま湯で湿らせた脱脂綿やティッシュ、人間の赤ちゃん用のお尻ふきなどで軽

く刺激して排泄を促します。こすらないように注意してください。ミルクを飲んだ後には排泄しやすいので、30分ぐらいしてからおしっこの出口を、次に肛門を軽く刺激してみましょう。

便秘のときは、人間の温かい手のひらを子猫のお腹にあて、「の」の字を書くように優しくマッサージしてから肛門を刺激します。

Q3 体を清潔にしてやりたいのですが。

A3 体力があり凶暴ではない猫ならば、ペット用ノミ取りシャンプーでなるべく早くシャンプーしましょう。

生まれて間もない子猫や体力が落ちている場合は、40℃ぐらいにした蒸しタオルでふきましょう。蒸しタオルは、水を絞ったタオルを電子レンジでチンして、適度な温度にさませばすぐ作れます。

小さいときは、顔→頭→胴体→しっぽ→手→足→お尻の順でふきます。

一人遊びでしっぽを自分の玩具にしてじゃれまわらしてしっぽも清潔に。

サッピーから

母猫が子猫をなめるのをイメージしてやってみてね。

メイから

蒸しタオルを使わなくても、人間の手のひらで優しくなせてもらえると気持ちいいし安心できるんだ。

Q4 他に気をつけることはありますか？

A4 3種混合ワクチン（伝染性腸炎又は猫汎白血球減少症、猫ウイルス性鼻気管炎、カリシウイルス感染症）や予防注射等、必要な予防接種を忘れないで。

寄生虫駆除（駆虫）やノミの駆除は獣医さんの検診を受けて必ずやってください。

優しく声をかけたり、時間を作ってなるべく遊んであげてください。遊べなかったりかわいがってもらえなかった子猫は、神経質で人間を嫌ったり、すぐかみつこうようになったりしやすいといわれます。みんなに愛される元気で賢い猫に育てるには、愛情をもってスキンシップをし、しつけもちゃんとするのが重要です。